

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年3月10日

【評価実施概要】

事業所番号	2093200026		
法人名	特定非営利活動法人ゾイロスファミリー		
事業所名	グループホームけんちゃん家		
所在地	長野県上高井郡小布施町大字中松701-1 (電話) 026-247-6781		
評価機関名	特定非営利活動法人環境・福祉事業評価センター		
所在地	長野県長野市南高田 2 - 5 - 1 6		
訪問調査日	2009年2月27日	評価確定日	2009年3月25日

【情報提供票より】(21年3月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19 年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	32 人	常勤 9 人, 非常勤 23 人,	常勤換算9.6

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1階建ての	~ 1	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	管理費 15,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(110,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(2月 20日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護 1	4名	要介護 2	2名
要介護 3	2名	要介護 4	名
要介護 5		要支援 2	1名
年齢	平均 81.2 歳	最低 71 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	新生病院、岡野医院、野口歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

この事業所の最大の特徴はOMソーラーで、屋根からの集熱で暖められた空気を利用して全館の自然暖房、冷房を取り入れて、ぬくもりをキーワードに健康で心地よい生活環境を作り出しているところにある。又小布施のオープンガーデンの取り組みへの参加の中で花壇菜園作りを通じて地域の住民との交流を目指し開かれたグループホームという感じが強い。運営理念を作り上げるのにワークショップなどを通じて職員が自分自身で作り出した非常に分かりやすい理念になっている。経営者以下前向きに事業に取り組んでいる姿がみられ、地域の特徴とアイデアを駆使した今後の取り組みに大いに期待がもてる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 該当なし
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回初めての外部評価であったが、自己評価について非常に丁寧に評価されている。会議の記録など整備は出来ている。取り組んでいきたい内容についても非常に前向きに考えている様子が伺えるが、職員への十分な浸透を前提に進めていって欲しい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は定期的開催されている。現在のホームの利用者状況やボランティアさんの話などを聴いてサービスの改善につとめている。会場も公会堂からホームの中庭などを利用して地域住民の代表、在介職員、家族会代表などに集まりやすい工夫がされている。会議の結果については必ず職員会議で話されており、職員への周知が出来ている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 4ヶ月に1回家族会を開いている。運営推進会議にも家族会代表に参加してもらっている。家族にはいきいき家族便りを発行してホームでの様子をお知らせするとともに個人的には請求書と一緒にノートに書いて伝えている。会議で出された意見は職員会議で話し合い改善に努力している。家族は気軽にホームを訪れ家族は職員と話す機会がある。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連事項:外部3) 地区の一員として自治会に加入して、地区の公園清掃をしたり、地区行事への参加とホームへの子供御輿・獅子舞の巡回なども来ていただいている。近くの保育園児との交流小学生の来訪など、地区の一員としての役割を果たしながら、地域からの協力も得ている。

2. 調査報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	介護理念、施設理念を入りに掲示している。会員募集のパンフレットなどにも運営方針、介護理念を記載して周知している様子が伺える。		介護理念の中に地域住民との交流の下でという項目を加え、介護の必要な高齢者を地域で支えるという考えを明確に打ち出すとよい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設内の定例会議などで、職員に周知している様子が確認できた。但し職員採用時に理念説明が充分されていないことが職員からの発言で感じられた。		職員採用時に理念についての十分な説明と自己評価にあるように朝礼時会議の際に唱和できるようなものが生まれてくることを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	オープンガーデンなど素晴らしい環境で地域の人々参加しやすい条件が整っている。地域の行事への参加、又ゴミ拾いなど地区の住人としての責任も果たしていると思う。		施設が開かれたものであることで地域の人たちの協力も得られると思うので今後いろいろなチャンスを捉えて交流を深め、地域で支えるという考えを普及して頂きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	定例会などで話したり、回覧などペーパーベースでの周知を図ってきている。		定例会議などで周知しているのは分かるが、初めてのことなので全員に充分理解してもらうのは難しかったようだ。しかし自己評価する中で出来ていないことが発見できたことは外部評価の意義を感じるいい機会として今後も改善に努めて欲しい。

いきいき家族おぶせ(けんちゃん家)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は定期的開催されており、開催場所や内容などに工夫が感じられる。メンバーの理解はかなり深まっている感じがする。定例の職員会議で問題点が話し合われた様子が分かる。</p>		<p>運営推進会議で出た内容については職員間でもしっかり話し合われているようだが、今後さらに広く大勢の人からの意見が聞けるよう努力を重ねられたい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>小布施の在介主催の地域ケア会議などに参加して情報交換の機会を確保している。又民間レベルの活動が活発で行政を巻き込んで研修している様子が分かる。</p>		<p>民間主導の連携活動に今後も取り組んでいかれることを望む。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族会は4ヶ月ごとに実施し家族会便りも発行している。連絡ノートで家族に利用者の様子を知らせる努力もされているようだ。</p>		<p>さらに家族と施設の一体感を感じさせる努力をされたい。家族が気軽に訪問できるようアピールしていくことも必要と思う。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議への家族代表参加や家族懇談会などで家族の意見希望苦情などを聞いている。又出されたものについては職員会議ではかり改善に努めている。</p>		<p>大多数の家族が参加できるよう家族会のあり方など検討を進められたい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>理事長の職員ケアの様子が感じられる。平成19年に徹底的に処遇改善がされ、離職率が下がっている。</p>		<p>職員のモチベーションがサービスには欠かせないので今後も離職率の低下のための努力をされたい。メンタルヘルスへの取り組みも考えて欲しい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は職員会議などを利用して定期的実施している。管理者は職員のレベルアップに前向きに取り組んでいる様子が伺える。		研修計画に沿って全職員が必要に応じて研修できるよう組み立てをしっかりとっていく必要がある。外部研修は職員のやる気を喚起させるいい機会なので積極的に参加させるよう努力して欲しい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1回の地域ケア会議への参加、又善光寺平グループホームねっとへの参加など同業者との交流に努めている。		今後小規模事業者の中核となって連絡会議を発足させて欲しい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所時に本人が納得いくまで説明や見学を充分している。お試し利用の文書化はしていないが入所後についてはマークとフォローは充分に行っている。		入所前のケアを充分に行い馴染んで気持ちよく過ごせる環境作りに今後も努められたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の能力に応じて家事などへの参加を促している様子が感じられる。又本人のやりたいことに添うサービスの一端もうかがえた。		利用者が今ある能力を発揮でき生きがいとして明るい気持ちで暮らせるよう支援していくことが大切と思う。職員の感性を高め寄り添う支援にさらに努力を重ねて欲しい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のかかわりの中で本人の意向を汲み取る努力はされている。</p>		<p>利用者一人一人が過去の生活歴に基づいて現在の人生を送っていることを理解して、家族歴生活歴の作成と共有を期待する。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>業務日誌などで記録し伝達と理解に努めている。家族へは連絡ノートなどで伝達理解を求めている。</p>		<p>自己評価に記されているように、単なる伝達ではなく、しっかりカンファレンスが行われ介護目標に沿った支援を職員が理解共有して支援していくことが大切なので仕組みの見直しをして欲しい。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は策定されているが、見直しをしている余裕が無い。</p>		<p>利用者は少しずつ変化していくので期間を決めたり変化に応じて介護計画を随時見直ししていくことが必要である。今後介護計画見直しと共に記録を残されたい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ボランティアの協力はあるがホーム内での対応にとどまっている感じがする。</p>		<p>家族、地域のネットワーク作りなどを通じて利用者のニーズに柔軟に対応できる体制作りが望まれる。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	パート看護師の判断に基づいて受診、往診など家族と連絡を取りながら支援している様子が伺える。		医療との連携は今後益々重要になってくるのでかかりつけ医、主治医との連絡を密にし記録をしっかり残しておくことが必要。
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族や、かかりつけ医と話し合いを持った経過はあるが利用者やその家族からしっかりした意思確認を取り付けているとはいえない。		本人もしくは家族親族との終末期に関する対応策について文書での取り交わしをしておくことが必要と思うので今後早期に対応されたい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	守秘義務の誓約書はあるが離職後の守秘義務については記載が無い。		守秘義務、個人情報の取り扱いについては文書化するのは当然だが、個人の倫理観の問題もあるので日々自己評価すると共に研修を続けて欲しい。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自由に入浴時間を設定するなど利用者の希望に添おうとしている努力が感じられる。		一定の介護者の中で利用者の希望を全部取り入れることは大変だと思うが、利用者の第一希望が実現できるよう体制作りに頑張りたい。

いきいき家族おぶせ(けんちゃん家)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の中に積極的に配膳片付けに関して嬉々としている姿を感じた。嗜好の調査をして好みに配慮している。		食事は高齢者にとって唯一の楽しみであると共に健康維持の基礎でもあるので嗜好のみでなくその人の口腔状況を配慮しながら献立のプランニングをしたい。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	平均して週3回は入浴している。時間の設定も自由に利用者への配慮が行き届いている。入浴を嫌がる人に対しても入っていただくよう努力している様子が伺える。		夜間の入浴についても今後の努力課題にあるようだが随時検討されたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	選択、配膳、片付けに参加している様子がみられる。その他農作業や薪割りなど参加している様子が聞き取りから伺えた。外出などについても希望に沿うよう努力している様子が分かる。		今後ももてる能力を生かし生きがいのある生活の支援に努力されたい
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	いろいろな機会を捉えて外出支援をしている様子が伺える。		利用者ニーズの掘り起こしと希望に添える形で努力して欲しい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には鍵はかけていないが利用者が出て行ってしまったことがあり、夏場鍵をかけた。出来るだけ同行外出して本人の納得がいくよう努力している様子が分かる。		今後も同様の努力を続けられたい。

いきいき家族おぶせ(けんちゃん家)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急通報など関係者が容易に出来るよう掲示がある。避難訓練の実施経過もあるが充分とはいえない。</p>		<p>地域住民の協力が大切。希望にあるよう協力体制を作ってから夜間の避難訓練をやっ て欲しい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事の摂取記録はある。水分摂取のチェック記録が無い。</p>		<p>特に夏場に向けて水分摂取記録も残されたい。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地のよい環境作りのため、生活観のある空間作り、音楽を流すなど努力を感じる。薪ストーブやソーラ利用の暖房などの家庭的な温かみも利用者サービスになっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個室は利用者らしい好みの空間作りがされている。トイレを自室に置かないことで部屋にこもらない配慮が見られる。</p>		

 は、重点項目。